

お天気解説 アキラのズバツと

過去の大雨記録は…

令和5年8月10日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

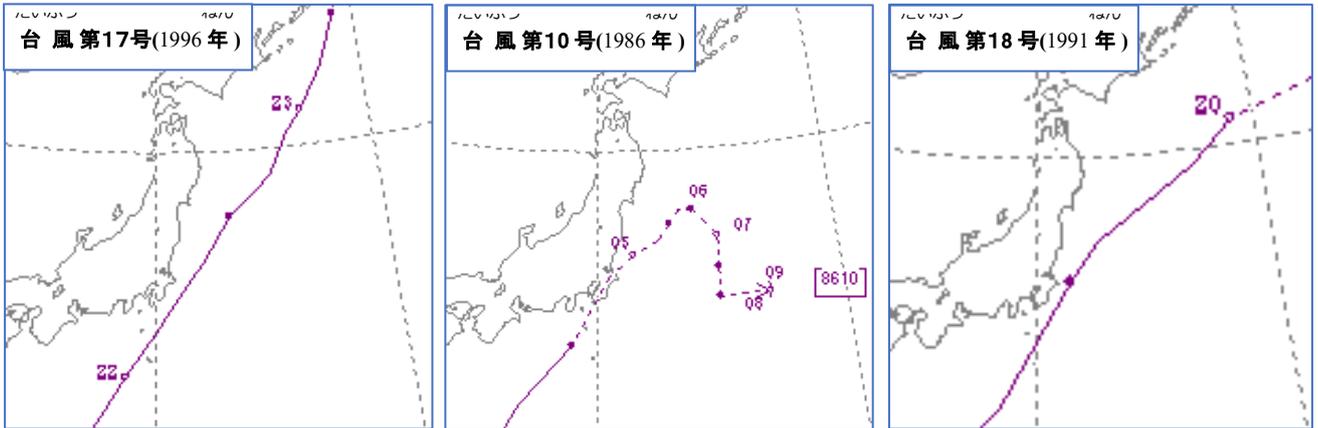
大雨が日本各地で降っていますが、江戸川区でも昔からたびたび被害が繰り返されています。大雨の時は早めの避難が大切です。

さて、過去の江戸川臨海で観測された降水記録はどんな時に多くなったのか調べてみましょう。表のように、1位は249ミリで1996年9月22日に観測されています。この日は、台風第17号の房総半島接近により、9月平年1か月分の降水量195.7ミリをわずか1日の間に超えてしまいました。江戸川臨海ではこのような大雨はすべて台風の接近・上陸が原因となっています。

順位	1位	2位	3位
日降水量 (mm)	249 1996/9/22	205 1986/8/4	204 1991/9/19

表：江戸川臨海の日降水量記録（気象庁HPより）

これらの記録を出した台風のコースを調べると、共通していることは「房総半島付近を北北東に進む時」です（図1）。2位の1986年台風第10号は、点線の部分は温帯低気圧に変わっていますが、コースは同様です。



図：江戸川臨海に日降水量記録をもたらした台風のコース（気象庁HPを加工）

週末のお天気		2023年08月10日11時 気象庁			
日付	今日 10日(木)	明日 11日(金)	明後日 12日(土)	13日(日)	
東京地方	晴時々曇	曇後一時雨	曇	曇一時雨	
降水確率(%)	-/-/20/20	20/30/50/30	40	60	
信頼度	-	-	-	B	
東京 気温 (℃)	最高	34	32	33 (31~35)	31 (30~35)
	最低	-	26	26 (24~27)	25 (24~27)

東京地方の週間天気予報より（気象庁HPから抜粋）

台風の動きしだいで雨の降り方が変わりそうです

過去に大きな水害をもたらした「狩野川台風」も「カスリーン台風」も、房総半島付近を北北東に進んでいます。

1か月分の降水量を超える雨量が1日で降ってしまうときは大きな災害が発生します。台風情報でこのようなコースが予想される台風があるとき、どう行動したらよいか家族で話し合っておきましょう。